

Health Emergency and Disaster Nursing (HEDN)

出版継続のためにご協力をお願いします。

募金のお願い

災害看護グローバルリーダー養成プログラムの公式ジャーナル Health Emergency and Disaster Nursing (HEDN) は2014年に文部科学省からの助成を受けて創刊し、世界初の災害看護研究に特化したオープンアクセスジャーナルとして、2018年まで全世界に無料で配信してきました。昨今、日本だけでなく世界規模で災害が頻発し、激甚化、大規模化、多様化するなかで、HEDNの出版を継続していくことは、“人間の安全保障”を考えるうえでも重要な責務であると考えています。

HEDNは地震、津波、台風、ハリケーン、洪水などの自然災害だけではなく、インフルエンザ、はしか、ジカウイルスなどのパンデミックと呼ばれる世界的に猛威を振るう感染症やワクチンも研究の対象としています。また、交通事故、労働災害、原油流出・海洋汚染、核爆発・放射線被害、殺戮、テロなどの人為災害も含んでおり、その対象は広範囲にわたっています。

これまでの5年間の土台の上に、今後、ますますジャーナルを発展させ、誰もが災害看護研究から恩恵を受けられるように研究成果を世界に向けて発表、配信できるよう、皆様方のご支援を是非お願いします。

これまでに発表したHEDNの論文はJ-Stage（国立研究開発法人科学技術振興機構が構築した日本の科学技術情報の電子ジャーナル出版を推進するプラットフォーム）から閲覧できます。

<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/hedn>

HEDNの出版事業の継続を応援いただくには、下記の口座へ寄付をお願いします。

りそな銀行 本郷支店 (普) 1886695 口座名義: NPO法人災害看護推進会

NPO法人災害看護推進会 問合せ先: info@npo-dng.jp

2018年に最も多くダウンロードされた論文

- Geopolitical and local obstacles of the “921” earthquake rescue in Taiwan
- Preparing community health leaders to safely transfer vulnerable flood victims
- A “borderless response”: The Haitian catastrophe of January 12, 2010
- Preface – Series: Disasters and geopolitics: Implications for nursing
- Deployment-related difficulties of Japanese disaster relief workers by mission duration: a cross-sectional study
- Effects of an interactive teaching method on perceived disaster nursing competencies of undergraduate nursing students

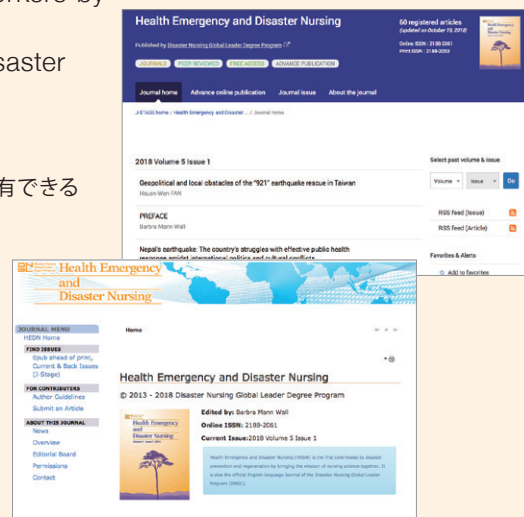
著者の国別内訳

これまでに数多くの国から投稿が寄せられており、HEDNは災害看護の情報を共有できる国際的な場となっています。

オーストラリア、インドネシア、イラン、日本、韓国、リベリア、フィリピン、タイ、トルコ、イギリス、アメリカなど。

HEDNジャーナル表紙の「奇跡の一本松」

2011年3月11日、岩手県陸前高田市の日本百景のひとつである景勝地、高田松原の70,000本もの松林が津波によりなぎ倒され壊滅した。その中を耐え抜き生き残った樹齢250年以上とも言われる一本の古木が立っているさまは、復興への希望のシンボルとされた。HEDNは看護科学の英知を結集させ、災害の予防、そして復興に寄与していきたいと考えている。



●災害看護グローバルリーダー養成プログラム (DNGL) 実施校



University of Kochi



UNIVERSITY OF HYOGO



TMDU
TOYOYO MEDICAL AND DENTAL UNIVERSITY



The Japanese Red Cross
College of Nursing



Chiba University